

らら通信 No.30



第15回定期総会開催さる 2025年5月18日



「らら・むーぶ緑」は今年15周年を迎えます。設立理念「利用者の視点に立ち、将来自分が欲しいと思うサービスでありたい」を再共感し、これからも明るく楽しく活動していくことを誓い合いました。

組織内の役割分担もスムーズにすすみ、今期からは新しい理事長さんが活躍されることになりました。

旧理事長さん、お疲れさまでした。そして有難う御座いました。新理事長さん、どうぞ宜しくお願い致します。(羅々)

・発行：移動サービスW.Co らら・むーぶ緑
・〒226-0025 横浜市緑区十日市場町840-3
福祉クラブ生協 るる*みどり館内
・電話：045-511-8401
・URL：<https://lalamove-midori.or.jp>
・発行日：2025年7月
・発行責任者：中村稔



らら・むーぶ緑HP



らら通信の
最新号



問合せ
E:mail

カラーで見たい人はコチラ

■ 新人紹介



配食サービス「なご味」の配達がメインですが、事務机で隣の「らら」さんがドライバー不足で右往左往しているのを外野席から覗くように傍観していました。

そうこうしているうちに、軽4以外の車(福祉車両)も運転できることが知れ渡り、「それならばメンバーになりなさい」ということになりました。

時間的な制約などがあり、デイサービスの迎えと送りがメインですが、出来る範囲で頑張ります。(南部敦)

ある日、こんな記事を見かけました。

太宰治は「優」の字について記している。優(すぐ)れるとも、優(やさ)しいとも読むが、人を憂えろと書いて「優」である。優しさとは「ひとの淋しさ侘(わび)しさ、つらさに敏感な事」に他ならない。それはまた「人間として一番優れている事じゃないかしら」。

昨今、世界中のあちらこちらから「xxファースト」という言葉が聞こえてきます。

この居たたまれない気持ちはいったいつまで続くのでしょうか……(夢歩)

市
井
の
人
々

■リフレッシュツアー 恩田川 花見：2025年4月11日

町田成瀬付近の恩田川へのお花見を行いました。利用者さま7名とメンバーで縦勢18名が5台の車に分乗しての大移動です。

この日は花曇りで時折りポツリポツリと雨があったものの、桜は満開で大勢の人で賑わっていました。恩田川の桜は、川面に枝が伸びて橋から望む満開の桜は、見事です。

そしてコバルトブルーのかわせみがいました。つがいのマガモ、白さぎも、肥った鯉もいました。はらはらと散った花弁は、一条二条の流れになって、春の情景を盛り上げています。素晴らしい日本の景色です。



あちらこちらナイススポットを求めてそぞろ歩き、それぞれがお気に入り写真を撮り皆さん満足気でした。「来年も、ここに来たい」の声がありましたよ。

お昼は、和食処「とんでん」で松花堂御前を堪能。笑顔で会話ははずみ「ころもお腹もいっぱい」、楽しい幸せな時間でした。帰宅時には、陽がさして汗ばむぐらいの陽気になりました。今年は桜の満開を皆様と一緒に出来て嬉しく思いました。
(Mスガ)

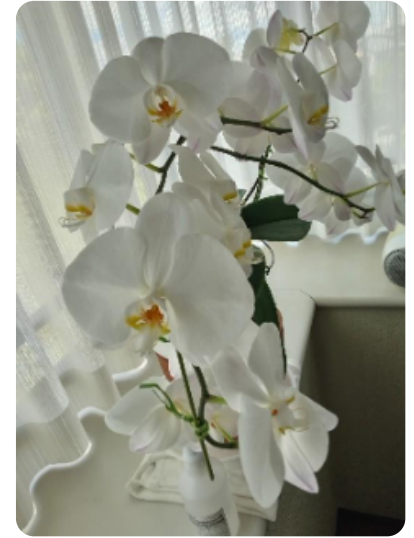
すがさんの 日々是好日

いま、まっさ花(か)り

開店祝い・開業祝いなどのお祝い花として人気の花は、何でしょう。

そうです。胡蝶蘭です。

ピンク色は夜のお店の開店に需要があるそうです。また花の中心が赤く染まった胡蝶蘭は紅白色なので、ひときり見立ち当選祝いやパーティーなどに引張だことか。いま参議院選挙なのでお花屋さん大忙しだね。きっと！



花ことばは二つあって、「幸福が飛んでくる」は、花の形が蝶のように見え幸せを運んでくるイメージからうまれたとされてます。「純粋な愛」は愛と美の女神アフロディーテにちなんで名づけられたとそうです。

この胡蝶蘭、育てるのが難しい印象がありますが、数年前に友人から「害虫や病気に強く、人間がすごしやすい環境で栽培するだけ」と言われて、1株いただきました。「色は咲いたら確認して。楽しみだね」と言われましたが、1年目は開花しなかった。

花づくり教本やWEBから、それなりの事をやったがやっぱり難しいと断念しかけた2年目、白い花が5輪ほど咲きました。それがいまや30輪ほども咲き、毎日毎日「幸福が飛んできてます」

色による花ことばもあり、とくに白色は、清純・純粋の意味があり、自分にぴったり。

いやいや、我が家にぴったり！！ (Mスガ)